

## 第 94 回大学英語教育学会（JACET）東アジア英語教育研究会 特別シンポジウム 2009

### 「コーパスを用いた日英語の記述的研究：アジアの視点から」

大学英語教育学会（JACET）九州・沖縄支部東アジア英語教育研究会では、下記の通り、第 94 回例会を開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。なお、JACET 会員以外の方でもご参加いただけます（参加費無料）。

●日時：2009 年 12 月 19 日（土）午後 3 時～5 時

●会場：西南学院大学 2 号館 202 教室（福岡市早良区西新 6 丁目 2-9 2）

※JR／新幹線 博多駅から福岡市営地下鉄に乗車し、西新駅で下車（所要約 12 分）。3 番出口から出て、北側（百道、福岡タワー側）に徒歩約 5 分。進行方向左手の正門から入る。

●プログラム（座長：石川慎一郎）

15:00～15:10

「内省とデータのはざままで：コーパスの可能性」

石川 慎一郎（神戸大学国際コミュニケーションセンター／国際文化学研究科外国語教育論講座）

【概要】言語研究に求められるのは質か量か、内省かデータか、特定言語研究に必要な条件は母語話者性かそれとも非母語話者性か。我々はともすれば二項対立的な議論を好みがちだが、実のところ、コーパス研究を成立させるのはその両者である。本発表では、日英語の記述的研究における内省とデータの関係を整理し、以下の 4 発表の導入としたい。

15:10～15:35

「英語学習者コーパスに見る使役動詞 make の用法」

井上 聡（神戸大学国際文化学研究科外国語教育論講座博士前期課程）

【概要】使役動詞 make を含む構文は、学習者にとって理解が難しく、間違いやすい統語パターンのひとつである。井上 (forthcoming) では、BNC を利用して、make の典型的な生起構造の解明を行った。本発表では、上記の結果と対照させつつ、日本人学習者の make 使用の現状の把握を目指したい。本研究では、対象とする日本人学習者のレベルを高校～大学初級程度とし、(1)高校教科書、(2)高校生理解度テスト、(3)大学生作文コーパスの 3 つの観点から現状の把握を行った。その結果、(1)教科書での make の提示は質量ともに不十分であり、(2)make の補部構造に関する学習者の知識は偏っており、(3)学習者は習熟度上昇に伴って「能動態・原形不定詞」型構文を過剰使用し、かつ、一部の限定的補部動詞を集中的に使用するようになることが明らかになった。以上より、高校・大学の指導現場においては、コミュニケーション能力を向上させるという観点から、make の運用精度を高め

る指導タスクの開発が重要となるであろう。

15:35～16:00

「英語母語話者／学習者コーパスに見る強意詞の用法」

野田盛一郎（神戸大学国際文化学研究所外国語教育論講座博士前期課程）

【概要】野田（2008）では、日本人英語学習者コーパスを用いた強意詞の用法分析を行い、学習者の習熟度の変化と強意詞の使用傾向の変遷の関係を探った。本発表では、上記の分析結果をふまえて、大規模母語話者コーパスである BNC に見られる強意詞使用傾向の概観を試みたい。なお、学習者コーパスを補完するデータとして、論者が作成した「日本中大学生英語学習者自由英作文コーパス」の分析結果についても併せて報告する。

16:10～16:35

「日本語コーパスに見るカタカナ語の諸相：日本語教育への示唆」

郭 奂君（神戸大学国際文化学研究所外国語教育論講座研究生）

【概要】日本語には、和語・漢語・外来語などの語種があるが、漢字圏の日本語学習者にとって、最も習得が困難なのは外来のカタカナ語である。カタカナ語は、形態や発音が起源言語から大きく変化し、多様な短縮型が生み出されているが、それらは従来の日本語教育においては十分に扱われてこなかった。本発表では、海外の日本語教育での利用を前提として、現代日本語の書き言葉コーパスより統計的に作成された「日本語カタカナ基本語彙表」および「短縮パターン別日本語カタカナ基本語彙表」について紹介を行いたい。

16:35～17:00

「日本語コーパスに見る『～込む』型複合動詞の諸相」

イ・ユノ（神戸大学国際文化学研究所外国語教育論講座博士後期課程）

【概要】日本語の複合動詞は外国人学習者にとって習得が困難な学習項目の一つであるが、日本語教育の現場において、その指導は必ずしも十分ではなかった（森田，1979；松田，2002）。本発表では、語彙的複合動詞として最も用例数が多いとされる「～込む」に注目し、新聞コーパス等を利用した頻度調査をふまえて、その多義的意味構造を整理し、今後の日本語教育への示唆を提示する。

en I think about it, the words from a song in a minor  
'problem people,' in the words of B17 89 Dorothy I.  
The publication of these words, from a B18 97 leaked  
>But listen again to the words Bush used to explain ho  
being goofy and left out words B12 47 that would hav  
't believe in italics or words in all caps. In the las  
t, cut, cut, subtracting words, adding words, C01 221  
ubtracting words, adding words, C01 221 taking out ag  
a woman of few C09 64 words who hated the parties a  
thead Lypsinka mouths the words to these women's usuall  
uote\_>"a man immersed in words,"<quote/> the poet Jame  
t none of these C16 50 words - Romania, Nazi, German  
best outlined in his own words:<p/> D03 33 <p\_><quote  
lem from D04 181 Marw's words of consternation in 2:4

